

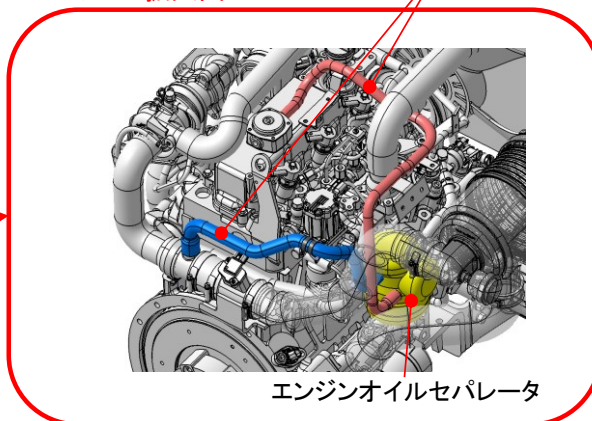
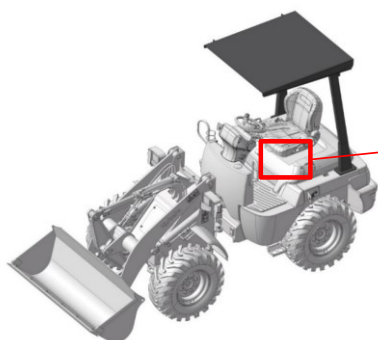
改善箇所説明図

破損箇所

(エンジンオイルセパレータの管路が氷で閉塞が発生)

基準不適合発生箇所
(エンジンオイルセパレータ管路)

エンジン 拡大図



エンジンオイルセパレータ

対策

- ① 取扱説明書に寒冷地での取り扱いに対する注意書きを追記し差し替える。

寒冷時の取扱い

気温が低くなると、始動困難・冷却水凍結などが生じますので、本機の取扱いには、十分注意してください。

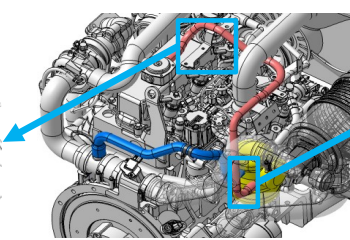
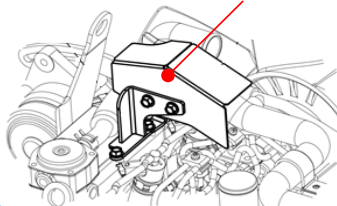
寒冷時の取扱い

気温が低くなると、始動困難・冷却水凍結などが生じますので、本機の取扱いには、十分注意してください。

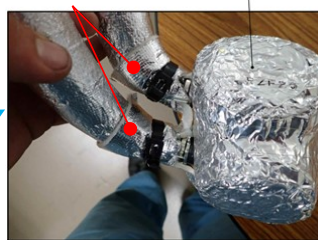
クボタ製品の場合
機械が使用可能な大気温度は-20℃以上です。それ未満の環境で使用の場合はクボタ建設機械販売会社又は、認定工場にご相談ください。

OEM製品の場合
機械が使用可能な大気温度は-20℃以上です。それ未満の環境で使用の場合はサービショップにご相談ください。

防風板追加



断熱材追加



不具合内容:

冬季の寒冷環境下でホイールローダを使用した際に、エンジンオイルセパレータの管路が氷で閉塞する場合があります。閉塞するとエンジン内圧が上昇してエンジンオイルが逆流し、エンジンの燃焼室に入る。その結果エンジンが最高回転数以上の回転になり、異常な推進力が発生して作動油が充分温まっていない場合、完全に車体が停止できないことがある。エンジンが最高回転数以上の回転になることでエンジン内部が損傷し、走行中にエンジンが止まり車両が停止する、エンジンの再始動ができなくなるおそれがある。

改善の内容:

全車両、取扱説明書に寒冷地での取り扱いに対する注意書きを追記し差し替える。また、エンジンオイルセパレータ管路に防風板、断熱材を取り付け、凍結による閉塞を防止する。エンジンコントローラを点検し異常な回転数まで上昇した履歴が残っていた場合はエンジンを点検しエンジンが破損している場合はエンジンを交換する。

改善後の識別:

防風板の有無により識別する。